

評価問題例

長さ～さがしてみよう～ 2年 ()

☆ 先生と長さクイズをしてみよう。

	もの	よそうした長さ	はかった長さ		クイズの ○×	先生から
			cm・mm	mm		
1	先生の手ちょう		cm mm	mm		
2	先生の手ひら					
3	先生の赤ペン					

☆ きょうの学しゅうをふりかえってみよう。

①長さの よそうは できましたか。	◎ ○ △	わかったことや おもったこと
②長さは 正しく はかれましたか。	◎ ○ △	
③クイズの時、ともだちにわかるように はなしが できましたか。	◎ ○ △	
④クイズの時、ともだちのはなしを しっかりきくことができましたか。	◎ ○ △	

評価問題のポイント

児童が他の児童と長さクイズをしている時と同時進行で、指導者と一人一人の児童がクイズを楽しみながら評価する場面を設定した。

身の回りの物の長さを見積もることができているか、30cmものさしを用いて正確に長さを測ることができているか、さらに、相手の話をしっかり聞いて答えることができるかなどを一人一人丁寧に見取りたい。先生からの欄等を活用し、児童にも分かるように指導者からの評価を記入したい。

また、時間が許せば、児童からも指導者にクイズを出題させることにより、自分の考えを相手に分かるように話すことができているかを見取することもできる。

さらに、個別に支援の必要な児童には、一対一対応で丁寧に指導することも可能である。

児童が自己評価をする欄では、この学習活動に対してどのように児童が臨んだかを読み取ることもできるであろう。児童がどのような内容を記述するのか予想し、どのように見取るのかを考えておくことが必要である。

問題の正答・誤答だけで判定するのではなく、児童の姿から学習の状況を見取ることができるよう力量を高めたい。